

日本司法福祉学会 ニュース

No.29 東京大会特集

〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町1001番地1 鈴鹿医療科学大学 藤原正範研究室気付
Tel: 059-383-9208 (内線2407) Fax: 059-383-9666

東京大会開催にあたって

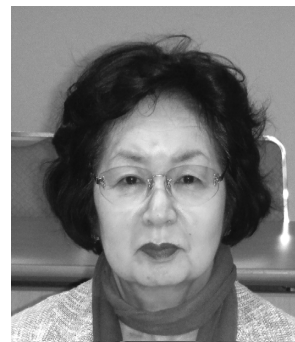
東京大会委員長 細井洋子

今年で125周年を迎えます東洋大学で、日本司法福祉学会東京大会を開催できますことは、大変光栄であります。本学の学祖井上円了博士は、迷信を打ち払い、自ら考える姿勢を養う第一歩として「妖怪学」を講義したとされています。数年前から本学の全学総合科目として導入された「妖怪学」は、この精神を受け継いだもので、不思議なものの本質を見極め、現代社会を「生き抜く力」を求めています。

本大会のシンポジウムのテーマは、超高齢化を迎えたわが国にとって、喫緊の課題であり、学会員の熱心な討議により、日本の社会の在り方を考える一つの契機となりましたら、学会の開催に関わった者の一人として、大きな幸せを感じます。

高齢者、障がい者を焦点において、司法と福祉との交差するアプローチを確認、発見し、さらに、多様な専門分野の間の橋渡しができればと願っております。

会場となります白山校舎は、中山道の旧道と新道をつなぐパッチワークのような建物であり、ご遠方からお見えになる会員の方々には、ご不便をおかけするかと思いますが、学生・教員一同がお迎えさせていただきますので、どうか多くの会員の方々のご参集を、心からお待ちしております。



細井洋子大会委員長

日本司法福祉学会第13回全国大会（東京大会）

大会テーマ

社会的弱者の加害——その対応を考える

日時

2012年8月4日（土）午後1時～
5日（日）午後4時50分

会場

東洋大学白山校舎6号館

後援

社団法人東京社会福祉士会
公益社団法人埼玉県社会福祉士会
社団法人神奈川県社会福祉士会
社団法人千葉県社会福祉士会

日程

*2日目の日程（ニュース28号で案内）が変更になりました。

[1日目（8月4日）]

午後1時～1時10分	オープニングセレモニー
午後1時10分～5時10分	大会シンポジウム
午後5時15分～5時45分	学会総会
午後6時～8時	懇親会

[2日目（8月5日）]

午前9時～11時45分	自由研究発表（4会場）
午後0時40分～2時40分	分科会・第1部（8会場）
午後2時50分～4時50分	分科会・第2部（7会場）

大会シンポジウム

テーマ：加害行為のあった高齢者・知的障害者に司法福祉はどう向き合うか

コーディネーター：古川隆司（追手門学院大学）
松友 了（東京社会福祉士会）

【パート1：入口部分—検挙、取調から裁判まで】

報告者：佐藤隆太（法律事務所シリウス・弁護士）
報告者：新名雅樹（岡山パブリック法律事務所・社会福祉士）
報告者：村尾泰弘（立正大学）
指定討論者：前野育三（関西学院大学・名誉教授）

【パート2：出口部分—受刑から釈放、自立まで】

報告者：磯網正子（東京保護観察所・保護観察官）
報告者：中西一郎（神奈川県地域生活定着支援センター・社会福祉士）
報告者：池田恵利子（あい権利擁護支援ネット・社会福祉士）
指定討論者：細井洋子（東洋大学）

自由研究発表

（報告20分→質疑5分→全報告終了後約40分間の討議を行う）

第1会場 司会進行：藤原正範（鈴鹿医療科学大学）

- ①更生保護制度の担い手に対する役割期待の諸相——日英の19世紀後半から第二次世界大戦まで
……………高橋由紀（一橋大学大学院）
- ②少年審判官・永田三郎の少年保護思想
……………武内謙治（九州大学）
- ③介護事故をめぐる裁判例研究——人の尊厳と介護職員の専門性
……………高橋利幸（鈴鹿医療科学大学大学院）
- ④変わる入管法——新たな在留管理制度の中での外国女性への支援と課題
……………矢作由美子（敬愛大学）
- ⑤親の「怒り」の視点から見る身体的虐待の発生メカニズム
……………飯田邦男（水戸家庭裁判所下妻支部）

第2会場 司会進行：新倉 修（青山学院大学）

- ①司法福祉実践の方法に関する実証的研究（1）
……………古川隆司（追手門学院大学）
- ②社会復帰を控えた生命犯に対する更生プログラムの研究
……………岡本茂樹（立命館大学）
- ③刑務所出所当事者グループによる社会復帰活動と課題
……………鈴木喜久芳（配りの会）・岡部眞樹子（東洋大学）
- ④社会福祉施設における支援対象者受け入れに関する一考察
……………江口賀子（西九州大学）

第3会場 司会進行：緑川 徹（江戸川大学）

- ①障害者支援施設における矯正施設を退所した知的障害者の施設退所支援と地域生活定着支援に関する実態調査

……………木下大生（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園）・水藤昌彦（山口県立大学）

- ②「触法行為」のあった知的障害者の地域生活支援の連携プロセス——司法領域の従事者に対する面接調査から
……………福永佳也（大阪府立大学大学院）
- ③障害のある少年院退院者に対する地域生活定着支援センターを通じた社会復帰支援の課題と展望
……………宍倉悠太（早稲田大学大学院）
- ④発達障害のある少年院仮退院予定者の福祉事業所での受け入れプロセスについての実践的研究
……………原田和明（南海福祉専門学校）

第4会場 司会進行：小西暁和（早稲田大学）

- ①重大触法事件に関する実証的研究——原則逆送事例と非送致事例の実態調査から
……………高橋幸成（日本子ども家庭総合研究所）
- ②若者の職業意識と就労支援……………黒澤良輔（徳島文理大学）
- ③児童虐待死亡事件についての裁判記録等を用いた事例研究からの考察——司法福祉的分析から虐待防止に有効なソーシャルワークを検討する
……………齋藤知子（帝京平成大学）
- ④児童自立支援施設における権利擁護のあり方に関する調査研究……………上村千尋（金城学院大学）

実行委員の追加

印出井達夫（東京社会福祉士会）



5月11日第2回実行委員会（東洋大学白山校舎）

選挙公示

日本司法福祉学会の理事・監事の選挙を次のとおり実施する。

- 日 時：8月4日（土）午後1時（口頭による告示後）～午後6時
- 投票場：東洋大学白山校舎（日本司法福祉学会第13回全国大会会場）
- 選挙権・被選挙権を有する者、投票方法は、日本司法福祉学会理事・監事選挙規則、同細則に定めるとおとする。

2012年6月1日

選挙管理委員長 小長井賀興
選挙管理委員 緑川 徹、松浦 信

〔事務局からお詫び〕

ニュース28号で「選挙権・被選挙権」のある会員について、「6月末までに2012年度会費納入」としていましたが、「6月末までに入会費・2011年度までの会費納入」に訂正します。

分科会・第1部 (午後0時40分～2時40分)**第1分科会** 満期出所者の社会復帰に向けた福祉的支援の現状と課題

企画：鷺野明美（行政・社会福祉士）
 報告者：宮沢和志（元刑事施設・精神保健福祉士）
 森本幸英（刑事施設・社会福祉士）
 鈴木延佳（保護司・社会福祉士）
 川島二三子（更生保護施設・社会福祉士）
 斎田和祐（地域生活定着支援センター・社会福祉士）
 南 慎吾（地域生活定着支援センター・相談員）
 野方真理子（就労支援機関・社会福祉士）

第2分科会 少年院における発達障害者に対する教育
 企画：金子陽子（名古屋矯正管区）、八田次郎（中京大学）
 報告者：栢屋二郎（関東医療少年院）
 山下嘉一（多摩少年院）
 加藤玲子（榛名女子学園）

第3分科会 ケアに応答する正義
 企画：宿谷晃弘（東京学芸大学）
 報告者：石戸 充（青山女子短期大学）
 瀧田信之（湘南DVサポートセンター）
 竹原幸太（東北公益文科大学）
 山田由紀子（弁護士、NPO 法人被害者加害者対話の会）
 山辺恵理子（東京大学大学院）

第4分科会 少年矯正施設（H・P・M級施設）における福祉士の活動——在院中からの支援ネットワーク
 企画：今井真美（京都医療少年院・精神保健福祉士）
 報告者：海口廣子（中津少年学院・社会福祉士）
 大西啓太（宮川医療少年院・社会福祉士）
 平岡香穂里（京都医療少年院）

第5分科会 ケアにおける関係としての正義（パート1）
 企画：原山 哲（東洋大学）
 報告者：小川エリナ（東洋大学）
 渡辺 芳（東洋大学）
 小山晶子（看護師・東洋大学福祉社会研究科）
 松下奈美子（一橋大学社会科学部研究科）

第6分科会 「生活支援」を軸とする権利擁護活動の展開——職種間連携に注目して（パート1）
 企画：湯原悦子（日本福祉大学）
 コメンテーター：平野隆之（日本福祉大学）
 報告者：上田晴男（NPO 法人PAS ネット）
 佐藤彰一（國學院大学法科大学院）
 竹内俊一（岡山県弁護士会・弁護士）
 田辺 寿（伊賀市社会福祉協議会）

第7分科会 先進諸国の性暴力被害者支援から学ぶ——すべての人の生存と尊厳が支えられる社会を目指して（パート1）

企画：矢作由美子（敬愛大学）
 報告者：鈴木ふみ（すべーすアライズ・弁護士）
 二場美由紀（婦人保護施設・支援員）
 橋本真佐子（東京社会福祉士会子ども家庭支援委員会）

第8分科会 児童自立支援施設・児童養護施設における性加害・被害児の対応と課題（パート1）
 企画：小木曾 宏（性教育研究会、児童養護施設房総双葉園）
 コメンテーター：梅山佐和（立命館大学）
 報告者：石澤方英（児童自立支援施設生実学校）
 相澤林太郎（子どもの虹研修センター）
 山口修平（児童養護施設一宮学園）
 杉浦ひとみ（東京アドヴォカシー法律事務所・弁護士）

分科会・第2部 (午後2時50分～4時50分)

第9分科会 「司法」がかかわることで「福祉」の分野の何が変わったか
 企画：丸山泰弘（立正大学）
 報告者：金子 充（立正大学）
 木下大生（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園）
 辻本俊之（NPO 法人埼玉ダルク）
 宮澤 進（NPO 法人ほっとポット）

第10分科会 いわゆる「処遇困難少年」にどう向き合い、或いはどう寄り添うべきか
 企画：緑川 徹（江戸川大学）
 報告者：伊藤真名世（小田原少年院）
 大熊直人（矯正研修所）

第11分科会 刑事事件における司法と福祉の連携事例をめぐって
 企画：佐藤隆太（法律事務所シリウス・弁護士）
 報告者：遠藤直也（法テラス千葉・弁護士）
 加藤 梓（法律事務所 SIRIUS・弁護士）

第5分科会（パート2）

第6分科会（パート2）

第7分科会（パート2）

第8分科会（パート2）

大会の参者の皆様へ（参加費等）

- 会員、東京・神奈川・千葉・埼玉社会福祉士会会員：2日間3,000円、1日のみ2,000円
- 非会員：2日間4,000円、1日のみ2,000円
- 1日目懇親会費：会員・非会員 5,000円
- 2日目昼弁当：1,000円

参加希望者は、7月20日までに、申込（会員は参加確認書、非会員は学会HP閲覧の上ファックスか電子メール）の上、支払必要額を「日本司法福祉学会東京大会実行委員会」の口座に振り込んでください。

振込先の口座番号：三重銀行千代崎支店（普通）160935
 振込先の口座名義：日本司法福祉学会東京大会実行委員会

組織の状況

○2012年6月15日現在の組織人員 366名

学会の財政状況

○2011年度一般会計

(円)

	科 目	予 算	決 算
収入の部	2010年度より繰越金	1,237,077	1,237,077
	会費		
	2011年度会費	1,400,000	1,504,000
	過年度会費	100,000	126,000
	入会金	40,000	36,000
	合計	1,540,000	1,666,000
収入の部	助成金・寄付	100,000	100,000
	日立みらい財団助成金等		
	その他	0	364,773
支出の部	合計	2,877,077	3,367,850
	事務局費		
	通信費	200,000	275,082
	管理労務費	150,000	201,959
	ニュースレター発行費	150,000	171,863
	会計監査費	100,000	37,580
	合計	600,000	686,484
	会議費		
	理事会費	300,000	213,480
	その他会議費	100,000	158,500
	合計	400,000	371,980
	全国大会費		
	実行委員会補助費	300,000	300,330
	編集委員会費	100,000	96,840
	学会誌編集費		
	生活書院編集委託費	550,000	578,025
	その他	50,000	10,947
	合計	700,000	685,812
支出の部	予備費	877,077	168,075
	合計	2,877,077	2,212,681

2012年3月31日現在残高 1,155,169円

会計は適正に処理されています。

2012年3月31日 監事 北澤信次 松宮 満

○2011年度特別会計（日本司法福祉学会国際交流基金） (円)

収入の部	国際犯罪学会第16回世界大会実行委員会から余剰分配金	1,447,043
支出の部	NOFSW 参加会員への補助金	100,000

2012年3月31日現在残高 1,347,043円

会計は適正に処理されています。

2012年3月31日 監事 北澤信次 松宮 満

○2012年度予算案

(円)

	科 目	2011年度予算	予 算
収入の部	2011年度より繰越金	1,237,077	1,155,169
	会費		
	2012年度会費	1,400,000	1,400,000
	過年度会費	100,000	100,000
	入会金	40,000	40,000
	合計	1,540,000	1,540,000
収入の部	助成金・寄付	100,000	100,000
	日立みらい財団助成金等		
	その他	0	0
支出の部	合計	2,877,077	2,795,169
	事務局費		
	通信費	200,000	200,000
	管理労務費	150,000	200,000
	ニュースレター発行費	150,000	200,000
	会計監査費	100,000	80,000
	合計	600,000	680,000
	会議費		
	理事会費	300,000	300,000
	その他会議費	100,000	150,000
	合計	400,000	450,000
	全国大会費		
	実行委員会補助費	300,000	300,000
	編集委員会費	100,000	100,000
	学会誌編集費		
	生活書院編集委託費	550,000	600,000
	その他	50,000	20,000
	合計	700,000	720,000
支出の部	予備費	877,077	645,169
	合計	2,877,077	2,795,169

日本司法福祉学会理事・監事選挙規則

- 第1条 理事の数は15名、監事の数は2名とする。
- 第2条 1 前条の理事のうち10名は、会員の投票によって選出する。
2 その他の理事は、前項の選挙の当選人の協議によって選出する。
3 監事2名は、会員の投票によって選出する。
- 第3条 1 理事・監事の選挙は、3年ごと、研究大会の機会に、開催地において行う。
2 理事の選挙は、10名連記、監事の選挙は2名連記の、いずれも無記名投票によって行う。
- 第4条 1 理事の当選人は、単純得票順に上位10名とする。
2 監事の当選人は、理事当選人以外の中から、単純得票順に上位2名とする。
3 理事・監事とも、得票が同数のときは、会員歴の古い者を当選人とし、会員歴が同等の場合は、生年月日の古い者を当選人とする。
- 第5条 名誉会員、2期連続して理事であった会員及び細則で定める選挙資格のない会員は、被選挙権を持たないものとする。
- 第6条 会長は、第2条第1項の選挙による当選人の投票によって選出する。
- 第7条 1 理事の欠員が生じたときは、第2条第1項、第2項いずれで選出された理事の後任であっても、理事会において補充する。
2 監事に欠員が生じたときは、理事会において補充する。
- 附 則 1 第1回選挙は、2009年の研究大会時に行い、研究大会修了の翌日から新理事会が発足するものとする。
2 第5条適用の開始時期は、第1回選挙のときとする。
- 附 則 本規則は、2012年6月1日に改正施行する。

日本司法福祉学会理事・監事選挙細則

- 第1条 1 3名からなる選挙管理委員会を作る。
2 委員は、理事会において選出する。
3 選挙管理委員会は、投票を公示し、投票を管理し、開票し、当選人を会員に対して公示する。
- 第2条 有選挙資格は、下記のすべてを満たす会員に限定する。
(1) 選挙の行われる年の6月末時点で会員であること。
(2) 選挙当日、研究大会に出席していること。
(3) 前会計年度までに加入し、入会費及び前年度までの会費を納入していること。
- 第3条 選挙の行われる年の研究大会において、有選挙資格の会員名簿を出席会員に配布する。
- 附 則 本細則は、2012年6月1日に改正施行する。